



上海へ年賀を送ろう！

～日中子ども年賀交流～

日中友好児童絵画展の関連事業として開催しております日中子ども年賀交流は、日中双方の関係各団体のご協力により今年で第3回目を迎えることが出来ました。衷心より感謝申し上げます。この事業は日中友好児童絵画展で芽生えた友好の息吹を更に高めてゆこうと、上海市人民対外友好協会・上海市少年宮と協力して、日本側は絵画展出展各団体へ呼び掛けて行っています。第1回目のKTC中央高等学院福岡キャンパスの高校生ボランティアと当会有志の年賀製作をはじめ、第2回目は春日小鳩幼稚園に当会代表がゲストティーチャーとして招かれ、今回は福岡市内の小学校、保育園、絵画教室等より156枚のカードをお寄せ頂きました。有難うございました。当会主催の製作会に参加する子ども達は、毎回製作する前に中国からの留学生等から中国の国やお正月の文化について話を聞いています。

どのカードもていねいに書き込まれており、まだ見ぬともだちへ世界平和や日本のお正月の文化を伝えたい等友好の思いが溢れるものばかりです。中には、上海市少年宮からのカードに書かれた「新年好(あけましておめでとう)や小朋友(お友だち)」という漢字が誰に教わる訳でもなく書き込まれ、子どもの洞察力の鋭さを感じさせるものもありました。参加した保育園の園長先生からは「園児達は上海市少年宮からのカードを目をキラキラと輝かせて食い入るように見て、自分のカードに納得がいかなかったのか、もう一度作りたいと言い出す子もいました」とのお話もあり、大人の世界がどうであれ、次の時代を担う子どもたちの友好を願う気持ちに国境は無いことに、今後も日中友好児童絵画展を継続してゆく勇気ももらいました。これらのカードは上海市人民対外友好協会を通じて、上海市少年宮へ返礼として贈られます。



【製作の現場をレポート】
当会主催の製作会には中国上海や黒竜江省出身の児童も参加。2歳から6年生の児童は中国語での新年の挨拶や自分の名前の言い方を習いカードを製作。保護者同士はお互いの教育事情について話が弾んでいました。



福岡市内の小学校では図画工作クラブで取り組みました。当会代表の中国についての話に熱心に耳を傾け、もう一度作り直したいという子も。国際情勢に詳しい6年生からは、世界平和を願い中国の子ども達と仲良くなりたいという話が出ました。



絵画展関連事業の一部紹介



春日小鳩幼稚園でゲストティーチャー



絵画展が縁で八女市教育委員会「礼節・ことば科」教科書製作に協力



アクロスこくさいひろばで上海からの年賀展示会